

# 私たちのまちづくり

## 多摩区まちづくり協議会 NEWS 平成21年 12月

25号

### 多摩のくらし～歳時記

～お正月～



羽根つき、凧あげ、カルタとり・・・日本人の正月の原風景は懐かしいふるさとの幼い頃の思い出にも通じます。

陰暦12月13日頃から新年を迎えるための支度にとりかかります。まず、どこの土地にも昔からの神社仏閣があり、皆、自分の家より先にきれいにしたものです。門松や鏡もちなどの家の飾りは28日または30日に済ませ、忌み数のつく29日、一夜飾りとなる31日には飾りつけません。

1月1日を「元旦(人日(じんじつ)の祝い)」、3日間を「三が日」といい、この間、家長や長男は小さいザルで少量のお米を洗い神棚におそなえします。「松のうち」である7日には正月飾りを下げ、3日間洗い上げしたお米で七草粥を作りました。春の七草は、せり、なすな、ごぎょう(母子草)、はこべ、ほとけのざ、すずな(かぶ)、すずしろ(大根)で、まな板の上でたたいて細かくして入れます。8日は針供養で、この日は針を持ちません。11日は蔵開きで正月に床の間に飾った鏡もちを手でこわして、お汁粉を食べます。14日はどんと焼き。お米の粉で作った団子を、7日に下げた正月飾りや神棚に使われた古きもの、達磨を焼いた蔵の神(さいのかみ)の火で焼いて食べます。この団子を食べると流行病や虫歯にならないといわれました。また、書き損じの書き初めなども、この火で燃やし火の粉が上に舞い上がると字が上手になる、といった言い伝えもあります。15日は「十五日正月」といい小豆飯を炊きました。16日は「菰入り」といい、この日はお嫁さんや使用人が1年で唯一、暇をもらって実家に帰ることができました。17日は山ノ神(さいのかみ)をまつり、山仕事を休みました。20日は初恵比寿を祝います。恵比寿様は七福神のうちのひとつです。28日は初不動といい、達磨を買いました。初年度は親指大、毎年大きくし、目を入れて神棚に飾りました。7年目に一番大きくなり、8年目には最初の大きさに戻ります。

お正月は1年最大の祭事で、学校では式典が行われ、お祝いの詞(うた)や1年の計を立てました。(川口)



### 多摩区町会連合会

多摩区町会連合会は、区内の90町内会・自治会から構成されています。

稲田町会連合会、生田地区町会連合会と連携し、地域住民の福祉の増進と円滑な住民組織活動の推進、併せて、多摩区の安全・安心なまちづくりの促進、明るく住みよいまちづくりと地域の振興を目的として活動しています。

町内会・自治会運営に必要なさまざまな見識を高めるため、各町内会・自治会の役員を対象に行われる研修会(写真)は、直面する問題解決の一助になっています。今後とも、地域の皆様の温かいご支援、ご鞭撻をお願いします。(古谷)



役員対象の研修会のようす

まち協のなかまたち

多摩区まちづくり協議会への委員推薦団体を紹介します



子どもリーダー研修会のようす

### 多摩区子ども会連合会

多摩区子ども会連合会は、川崎市子ども会連合会と多摩区内の町会・自治会の単位子ども会とをつなぐパイプ役を担っています。

主な行事は、「小・中学生野球大会」「少年少女消防クラブ」「子どもリーダー研修会」「羽根つき大会」「書道・絵画作品展」など、年間を通した活動のほか、全国政令指定都市の「子ども会」「ジュニアリーダー会」との交流会も行っています。

少子化や「子ども会」からの脱退で、参加団体の減少が悩みの種です。楽しい「子ども会」に是非ご参加ください。(高橋)

**まちづくりカレンダー**

※皆様からお寄せいただいた情報を掲載します

**多摩区まちづくり協議会 活動発表会**

まちづくり協議会の今年度の活動を発表します。皆様の来場をお待ちしています。詳細は後日発行チラシを参照ください。

【会場】多摩区総合庁舎1階アトリウム及び11階会議室

【日時】2月6日(土) 13時～16時(予定)

多摩区まちづくり協議会へのご意見・質問、プロジェクトへの参加申込はこちらへお願いします。

【事務局】TEL 4-801-0100  
多摩区役所地域振興課まちづくり班  
電話 0426-33-4800  
FAX 0426-33-4801  
Eメール T1shin@city.kawasaki.jp

**自転車の安全な乗り方講習会**

多摩区地域教育会議 教育を語るついで実行委員会主催。ノストロップ、自転車事故二を目指して、小・中学生と保護者を対象としたアンケートの実施、自転車の安全な乗り方やルールの勉強と実地体験を行います。

【日時と内容】①2月20日(土) 10時～12時 自転車のルールや安全性についての勉強(座学)

②3月27日(土) 10時～12時 安全な自転車の乗り方走行を体験

【会場】①多摩市民館3階大会議室  
②新多摩川ハイムコミュニティ広場(中野島駅前)

【参加費】無料

【申込】会場に直接お越しください。

【問合せ】多摩区地域教育会議事務局(多摩市民館内) 電話 9355・3333  
FAX 9355・3399

### 編集後記



新しい体制で6つのプロジェクトの活動がスタートして約半年が過ぎました。プロジェクトの皆さんは熱心に毎月集まり打ち合わせを行い、計画を立て、実施の分担を決めて知恵と力を出し合い推進しております。この広報紙を読んでいただき、関心のあるプロジェクトがありましたら、一度顔を出して様子を見たりご意見を述べていただければ幸いです。平成22年2月6日(土)には今期の活動発表会を準備しておりますのでご期待ください。(木村)

## 藤沢市のまちづくりに学ぶ

11月16日(月)まち協の視察研修会が行われました。視察先は藤沢市です。今回の視察研修会のねらいは、行政施策の一環として設置され活動している「地域経営会議」と、住民の皆さんの発意で完全に自主的な活動を行っている「江の島みちルネッサンス推進会議(みちルネ)」の2団体と意見交換をさせていただき、これからの活動のあり方について考えていくというものでした。

藤沢市では市を13の地域に分けて「地域経営会議」を設置し、住民と行政との協働によるまちづくりを実践しています。「みちルネ」は、景観向上に関する様々な活動を藤沢市内にとどまらず活発に行っている団体です。



湘南台地域経営会議との意見交換

午前中は湘南台地区の地域経営会議の皆さんと意見交換を行い、午後からはみちルネさんの案内で、藤



片瀬山公園にて江の島みちルネッサンス推進会議と

沢駅南口と片瀬山北公園周辺のまちあるきをし、苦労話やアピールしたい活動ポイント等のお話を伺い、たいへん参考になる情報を得ることができました。意見交換させていただいた皆さんからももらったエネルギーを、まち協の活動に活かしていきたいと思ひます。(木村)

## たまサロンを終えて

たまサロンは、多摩区の市民活動団体の皆様が集まって意見交換をする場として、平成18年度からまち協主催で開催して



たまサロンでの発表のようす

り、今年度で4回目となります。今回は新しい試みとして、「様々なテーマで活躍している団体の話を聞いて交流しよう」をテーマとし、区内外で活躍している4団体の活動内容を発表していただき、グループに分かれてお互いの活動などについて意見交換を行いました。

まち協が進行役を務めました。まだまだ進行の技術が足りないと痛感したたまサロンでもありました。皆様からいただいたご意見を参考にして、より有意義で楽しいたまサロンを来年度も企画したいと考えております。(石橋)

**まちカツ!** 活動発表会のお知らせ

日時 平成22年2月6日(土) 13時～16時(予定)

場所 多摩区総合庁舎 1階アトリウム及び11階会議室

まち協が新体制となって2年が経ち、初めての活動発表会(愛称:まちカツ!)を企画しているところです。この2年間のまち協の活動や、住民によるまちづくりの大切さを区民の皆さんに知っていただくとともに、既に活動している方にとっても有意義な場にしていきます。詳しくはまた別途お知らせしますので、ぜひ遊びに来てみてください!

### 『たまサロン』のご報告の訂正とお詫び

たまサロンへ参加していただいた団体あてに「『たまサロン』のご報告」を送付させていただきましたが、一部を次のとおり訂正し、関係者の皆様にお詫び申し上げます。

- ① P3左段下から4行目(誤)南生田中学校 ⇒ (正)南菅中学校 / ② P5左段上から8行目(誤)17団体 ⇒ (正)10団体と緑地保全に関心のある個人で構成 / ③ P5左段下から1行目(誤)木の伐採が必要だ ⇒ (正)木が伐採された /
- ④ P5右段上から5行目(誤)見せ合う ⇒ (正)知り合う / ⑤ P5右段下から20行目(誤)役に立たない ⇒ (正)役に立っていない

# 6つのプロジェクトを進めています

※プロジェクトの見学などは随時受け付けています。事務局までご連絡ください。

## プロジェクト 5 家庭の「資源物」分別回収を広めよう



私たちは、住民一人ひとりがごみと資源物を分別して出すことこそ、ごみの再資源化と減量を進める原動力だと考えています。空き缶・ペットボトル・空きびん・使用済み乾電池などの「資源物」を分別排出することの重要性をもっとたくさんの方々に知ってもらい、実際に各家庭で実行してもらいたいという思いから、現在4人で頑張っている活動しています。

9月に入って「ごみは資源だ～分別で地球温暖化を防ごう!～」をメッセージとした、**分別啓発チラシ**ができあがり、私たちの住む3つの町会ブロック(登戸南町会南新町地区、登戸下河原町会、登戸台和町会台南支部)の集積所と掲示板に掲示しました。機会があるときにぜひチェックしてみてください!



完成したチラシ

チラシの配布活動はこれまで、9月の市内統一美化活動日、10月の多摩区文化祭、11月の多摩区区民祭で行いました。今後もイベントなどで配布していきます。

また10月28日には、リサイクルのために資源物(びん・缶・ペットボトル)を選別処理する南部リサイクルセンターを見学しました。きちんと分別されていない資源物のごみとなって、焼却や埋め立てされている現実を見て、改めて分別の重要性を再認識しました。この知識を活かして、新たな啓発活動を企画していきたいと考えています。(井上)



南部リサイクルセンターの見学



たまサロンでの意見交換

## プロジェクト 6 まちづくりグループの情報交換・交流ネットワークづくり



区内で活動している多くの市民活動グループの**情報交換・交流ネットワークの仕組みづくり**を進めています。

まずは、グループ間のネットワークをつくることでどんなメリットや成果が得られるかについて話し合っています。ネットワーク化のメリットを明ら

かにして、それを十二分に引き出せるよう、事前の検討を念入りに行っているところです。今のところ、情報がつながっていくことで、ほしい情報や人材等が手に入る可能性が広がる点が一番のメリットと考え、これを具体的に実現させる方法を模索していきます。(木村)

## プロジェクト 2 花と緑でまちづくり ~ご近所の空き地を花壇にしよう~



1年度4か所を目標として、地元の維持管理グループと一緒に**花壇づくり**を進めています。既に2か所(菅稲田堤水路脇第2期部分、南菅小学校東北外壁沿い)が完成し、新たに南菅小学校西南外壁沿いも草刈りなどの整備を始めました。

また、緑地の保全を目指して行っている**緑地調**

**査**は、6月に菅地区、9月に生田地区、11月に登戸地区を完了しました。立派に整備されているところもあれば、残念ながらゴミが散乱しているところもありました。今後も調査を続ける予定です。(寺尾)



緑地の調査にて

## プロジェクト 4 世代間の交流ができるコミュニティセンターをつくろう ~子どもからシニア・みんなで楽しく心のふれあいを~



プロジェクトの活動も下半期に入り、サロンや勉強会、公開討論など、活発に動き出しました。9月のサロンは「認知症とその予防について」。**認知症家族会の方の講演と交流会**を行いました。

10月は、地域の人と交流しながら「体験する文化祭」を実施している**生田中文化祭**に参加し、中学生40名とパンづくりをしました。アツアツのパンを「おいしい!」と食べてくれた生徒たちの笑顔

から大きな喜びを得ました。

11月はパネルディスカッション「安心して歳を重ねるために」を開催し、12月にはクリスマスパーティーを企画しましたが、新型インフルエンザを考慮し中止しました。来年1月は新年を祝って謡曲「羽衣」と舞踊など、「**舞はじめのサロン**」を開催します。(久野)



中学生とのパンづくり

## プロジェクト 1 区民でつくろう、地域交通



私たちは、交通不便地域の条件を「府中街道や世田谷・町田線などの基幹道路を基点として高度50mを超えていること」あるいは「自宅から200m以内に駅又はバス停がないこと」と考えて、これに該当する地域はどこかを明確にしようとしています。具体的には、次の4種類の図をトレーシングペーパーで作成する作業をしています。

①鉄道・バス路線(駅名、バス停名も記載)

②町丁目界(町丁名と人口も記載)

③等高線

④駅・バス停から半径200m外区域図

この4枚のトレーシングペーパーと多摩区の地図を重ね合わせることで浮かび上がってくる交通不便地域へ、現地調査やアンケートを実施する予定です。(柴田)



みんなで作業を楽しく進めています!

## プロジェクト 3 多摩区の観光資源・地産地消のマップづくり



直売所のような

区内の農家が精魂こめてつくった**採りたて農産物の直売所と隠れた観光資源**を探し始めて早や半年を過ぎ、すっかり日も短くなりました。

9月半ばから5~6人のメンバーで、数ある農家1軒1軒を手分けして訪問し、つくっている野菜・果物の種類から、自慢したいポイント、作り方のこだわり、苦労していること等々取材しています。直売所には手書きの看板とともに色とりどりの野菜や果物が並び、常連さんとの会話が飛び交う和気あいあいの雰囲気です。「多摩区にはどんな農産物があるの?どこで手に入るの?」という

興味から始まった活動ですが、取材をして、改めて生産者の皆さんや農産物のことをもっと多くの方に知ってほしいという思いを強くしています。

青々とした野菜畑、ずっしりと実をつけた果樹園の写真を撮ろうと取材に伺ったものの、農産物の種類によっては時季を逸してしまった場所もありますが、取材させていただいた生産者の皆さんの期待に応えたいと頑張っています。



手書きの看板で手作り感いっぱいの直売所

今後もより多くの直売所、隠れた観光資源を取材する活動を進めていくので**情報をお待ちしております**。(安陪)